



学校だより

校訓：豊かさ・確かさ・たくましさ

小田原市立橋中学校

令和8年9月1日発行 第6号

小田原市立橋中学校

校長 松澤 文恵

45日間の長い夏休みが終わり、子どもたちの明るい笑顔と元気な姿が学校に戻り、とても嬉しく思います。

今年の夏休みは熊本の地震、千葉や石川・富山での豪雨災害など深刻な被害のニュースに心を痛めました。記録的な猛暑ともなり、熱中症や水の事故を心配しましたが、大きな事故や病気の連絡もなく今日を迎えられたことは、子どもたち一人ひとりが目標をもち、何よりも“命”を大切にしながら自律した生活を送った結果であると思っています。保護者・地域の皆様、休み中の子どもたちの見守りと温かなご指導をありがとうございました。

これから冬休みまでの4か月は、子どもたちにとっても「実りの秋」です。定期テスト、学習発表会、防災や職業についての学習、3年生は進路決定…。こうした取り組みは、子どもたちが日ごろの学習の成果と自身の成長を確かめられるときです。これまで以上に教職員が一丸となって、学校生活をとおり、子どもたちを見守り、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

栄光の記録 部活動大会等表彰の報告

部活動では、夏の大会やコンクールに向けて地道に努力を重ね、全力を出し切った生徒たちの姿や心の絆をたくさん目の当たりにし、とても心を打たれました。

子どもたちにとっては、「信頼できる仲間」や「成長を感じられる自分自身」など、活動の中で多くのものをつかみ取った、貴重な経験をできた夏だったのではないかと思います。

〇バドミントン部

県西ブロック総合体育大会

女子団体の部 準優勝 → 県大会出場

女子シングルの部 優勝 ○○ ○○

→ 県大会出場

女子ダブルスの部 準優勝 ○○ ○○・○○ ○○

→ 県大会出場



〇バレーボール部

小田原・足柄下地区総合体育大会 準優勝

県西ブロック総合体育大会 第3位 → 県大会出場

〇美術部

よい歯のポスター・標語コンクール

銅賞 ○○ ○○

銅賞 ○○ ○○

佳作 ○○ ○○



※各部の様子等はこちら

〇吹奏楽部

西湘吹奏楽コンクール中学校 B 部門 銅賞

「じぶんだけの いろ」

A color of his own (by Leo Lionni)から

レオ＝レオニの「じぶんだけの いろ ～いろいろさがしたカメレオンのはなし」という絵本があります。「おうむは緑」「金魚は赤い」と始まるこのお話は、動物にはそれぞれ固有の色があるのに、自分は行く先々で色が変わってしまい、色を持たないことを嘆くカメレオンが主人公。

～絵本のあらすじ～

自分の色を持ちたい そんな悩みを持ったカメレオンはある日、年上の賢いカメレオンと出会います。自分の色を持っていない悩みを打ち明ける主人公に、もう一匹のカメレオンは「僕と一緒にいてみないか？」と提案します。

二匹が一緒に暮らすと… 二匹は一緒に 緑になり 紫になり 黄色になり 赤に白の水玉模様になりました(二匹とも にっこり嬉しそうな表情です)。めでたし めでたし。

この絵本を読むといろいろなことを感じます。

例えば…

○環境に合わせて色を変えられるのは、カメレオンの素晴らしい個性。それこそがカメレオンの自分らしさだろうと思うけど、当のカメレオンはその素晴らしさに気づいていなくて、それもまたなんと愛らしい。

○自分の色を持てなかったとしても、同じ場所にいて同じ色になったり同じ時間や気持ちを共有したりできる仲間、分り合える存在がいることで、心が満たされるのだな。

絵本ですので読んだ人が自由に感じるものですが、私はタイトルの「じぶんだけの いろ」とは、「じぶんだけの個性」や「じぶんらしさ」ではないかと思うのです。

ここからの学校生活では、一人ひとりが自分の「個性」や「よさ」を出しながら、クラスや学年・学校という集団の中で力を発揮してほしいものです。来月の学習発表会では各クラスの合唱の発表もあります。絵の具で例えれば、全員が同じ色の絵の具だったら、つまらない絵しか描けないですが、一人ひとりがバラバラな色だからこそ、味のある、奥深い作品になっていきます。これからの生徒の皆さんの活躍を期待しています。

9月から特別教室も涼しく

夏休み中に、理科室・技術科室・調理室・被服室・音楽室・美術室の6教室に空調を設置してもらいました。



残暑の厳しい9月も涼しい環境で授業を再開できそうでした。